

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-372-5533

年度	令和3年度
施設名	白根学習館(白根地区公民館) 所管部・課 教育委員会中央公民館
施設の設置目的	「個性と創造性をはぐむ生涯学習のまちづくり」を進めるため、市民が生き生きと生活し、それぞれのライフステージの確立に向け、図書館、公民館、文化ホール機能を集約化し、生涯学習活動の増進に寄与することを目的に、学習館を設置します。

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R3.7.5
歳入	2,837	正職員	6	修正日	
歳出	45,716	会計年度任用職員	5	評価日	

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標					R3結果
1	市民	市民に親しまれる生涯学習施設として、施設利用者数の向上を図る。	年間利用者数(人)	145,833	138,706	102,481	120,593	98,991	H27～図書館利用者を含んだ数値目標。過去2年の平均を目標値に計上	図書館利用者、学習館まつり(展示部門)他貸館	ラスペックホール天井改修工事、新型コロナウイルス感染症拡大により利用者数減少した。	C:未達成
2	市民	各種サービス別満足度の向上	参加者の満足度調査で「満足」以上の割合を増やす。(%)	96	96	97	96	98	過去3年の平均を目標値に計上		アンケート実施21事業の内、16事業が100%の満足度となった。	A:達成(優)
3	市民	市民団体などからの施設の積極的利用を図る。	会議室、ホールの稼働率の向上(%) 1コマ:1時間単位	40.5	38.5	37.5	38.8	11.1	過去3年の平均を目標値に計上		ラスペックホール天井改修工事、新型コロナウイルス感染症拡大により稼働率は低下した。	C:未達成
4	財務	効率的な施設運営を図る。	施設利用者1人あたりの運営経費(円)	307	321	423	372	448	H27～年間利用者数の算出根拠に変更した数値目標。過去2年の平均を計上	H28～電力のデマンド計を設置し節電に取り組むほか、施設管理費全体の経費節減にも努める。	運営経費は微増だが、利用者数の減少により1人当たりの運営経費が増加した。	C:未達成
5	業務	他機関、他団体との連携による事業を展開する。	連携事業の実施(回数)	38	43	16	21	16	自治会、学校、社会福祉協議会等と協働で講座、イベントを開催予定の事業(回数)を目標値に計上	地区文化祭、芸能祭、子ども広場等	新型コロナウイルス感染症拡大による事業中止の中で、他機関、他団体との連携に努めた。	C:未達成
6	業務	災害などの発生時に、迅速対応できる体制づくりを図る。	防災訓練の実施(回数)	2	2	2	2	2	消防設備の設置場所及び使用方法の確認、避難誘導経路の確認	防災マニュアルによる避難訓練を実施し、市民が安心して利用できる施設を目指す。	緊急時における利用者の安全確保のため、防災マニュアルに従い、平日と休日を想定し、訓練を行った。	B:達成
7	人材	職員として、施設目標を達成するうえで必要な知識やスキルの向上を図る。	人材研修の実施(回数)	2	2	2	2	1	ホールの照明・音響設備の操作講習会を職員に実施し、市民が安全、適切に利用できるよう支援する	ホール照明設備、音響設備の操作研修	ホールが長期工事であったため、工事終了後の研修実施可能期間が短く、1回のみの実施となった。	C:未達成
8	人材	人材育成	コンプライアンス研修年間実施回数1回以上	1	1	1	1	1			年1回の研修を実施し、コンプライアンス意識の醸成に努めた。	B:達成
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動、各種サークルなどの活動拠点の場として、公民館・学習館の活用により地域活性化に寄与します。 ・利用者数、稼働率の向上を図り、市民が利用しやすく、親しみやすい施設を目指します。 ・施設の管理的経費を抑え、使用料の収入を維持し、財務体質の強化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大及びラスペックホール天井改修工事により利用休止となり目標は達成できませんでした。次年度は、更に市民にとって利用しやすく、親しみやすい、地域の生涯学習の拠点となる施設を目指します。 ・施設管理については、平成28年度から電力のデマンド計を導入し、ピーク値の管理を行いながら、節電など経常経費の節減に努めましたが、利用者数の減少もあり目標数値を達成できませんでした。次年度も経常経費の節減に努めます。 ・事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の中で感染防止対策を徹底したうえで実施し、満足度評価は目標を達成することができました。次年度も引き続き感染症対策を行い、地域コミュニティの活性化に寄与する事業を実施し、地域の課題解決に努めます。